



公益財団法人日本YWCA

2018年度事業報告

事業年度: 自)2018年4月1日 至)2019年3月31日

公益財団法人日本YWCA 2018年度事業報告

事業年度: 自)2018年4月1日 至)2019年3月31日

1. 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業（公益目的事業1）

「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIVとAIDS」「性と生殖/健康」など女性と子どもに関わる地球規模のグローバルな課題をこに若い世代の人たちに普及啓発することを目的に、若い女性を対象とした以下のリーダーシップ養成プログラムを実施した。プログラムでは座学その他、課題の現場への訪問を重視し、フィールドワークを行い、これらの学習と実践によって国際社会に貢献する次世代の人材養成を行った。

■ひろしまを考える旅2018

日程: 2018年8月9日(木)～11日(土)

* オプションプログラムは12日(日)まで

主会場: 広島市文化交流会館

テーマ: 本当に知っていますか? ～広島・ヒロシマ・広島～

参加者: 59名(小学生1名、中学生6名、高校生10名、大学生8名、社会人9名、海外ゲスト10名、通訳2名、インターン1名、ボランティアリーダー4名、広島YWCA2名、担当委員2名、担当職員2名)、その他日本YWCA職員2名)およびリソースパーソン

海外ゲスト:

中国YWCA5名: 趙静文(中国YWCA総幹事)、熊振宇、

王天妹、黄得

圣、党天琦

韓国YWCA3名: Chun Youran(韓国YWCA幹事)、Lee Tae

In・Hong Da Eun (Gyeongbuk高校2年生)

世界YWCA1名: Andrea Michelle Gradiz (副会長)

ホンジュラスYWCA1名: Diana Spencer Robinson Anariba



「ひろしまを考える旅」は、核兵器による惨事を二度と繰り返さないために、平和の大切さを学び、平和な世界を実現したいと願い、広島の地で実施する2泊3日(オプションツアー参加の場合は3泊4日)のプログラムであり、1971年より毎年夏に広島で実施している。2018年度も全国の中高生・大学生を中心に、留学生、韓国・中国・ホンジュラスからの参加者等、多文化・多世代が参加し、被爆証言を聴き、広島平和記念資料館見学やフィールドワーク、グループ討議など、参加者は五感を研ぎ澄ませてひろしまの経験を追体験し、平和について話し合った。

2018年度のテーマは「本当に知っていますか? ～広島・ヒロシマ・広島～」。旧字体の広島は、日本のアジア侵略における重要な役割を担っていた軍都であったことを表し、カタカナのヒロシマは核兵器が使用された土地であったこと、漢字の広島は今現在の広島を、平仮名のひろしまは未来を表している。今年度のこのプログラムでは、ひろしまの過去についてさまざまな視点から学び、現在、そして未来の平和

について考えを深める内容とした。

プログラムは以下のとおり。

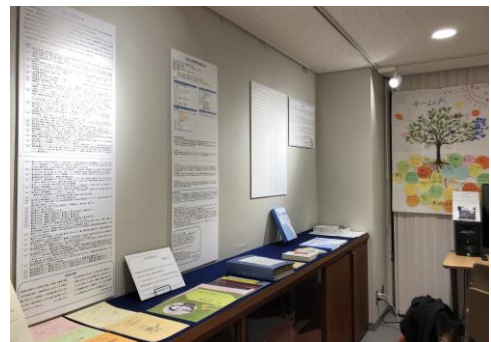
- 開会、アイスブレーキング、ワークショップ1、広島平和記念資料館見学、碑めぐり、ワークショップ2、交流会、フィールドワーク①広島城周辺市内コース ②中高生が伝えるひろしまコース ③『夏の花』を歩くひろしまコース、④韓国・朝鮮人被爆者の歩みコース、被爆証言、ワークショップ3、タペの祈り、ワークショップ4、想いを伝える、閉会、オプションルツアー（世界遺産 宮島を楽しむ・岩国の米軍基地を訪ねる）

■特別展示「ひろしまを考える旅—50年の軌跡」

日程:2019年3月11日(月)～4月5日(金)

会場:NCC 教育部平和教育資料センター

来場者:55名



1971年にスタートした「ひろしまを考える旅」は、もうすぐ50年を迎えようとしている。50年を目前に、NCC(日本キリスト教協議会)教育部平和教育資料センターの協力を得て、特別展示「「ひろしまを考える旅—50年の軌跡」を開催した。戦後74年、被爆者の多くは亡くなり、その証言を直接聴くことが難しく、また、広島街の開発が進み、歴史を伝えるものが見えなくなってきた。そのような中で、この特別展の開催は、「ひろしまを考える旅」が長年にわたって集めた写真や被爆証言を、多くの方たちに見ていただく機会となった。展示物は、パッケージにして、全国各地で展示いただくようにする。

この特別展は、会場を提供くださったNCC教育部の協力のほか、公益財団法人ウェスレー財団からの補助金378,000円を受けて開催した。

展示内容は以下のとおり。

- YWCA とは、「ひろしまを考える旅」とは、基調講演と被爆証言者、フィールドワーク、碑めぐり、「ひろしまを考える旅2018」の紹介、「ひろしまを考える旅」年表

■日韓ユース・カンファレンス2018

日韓ユース・カンファレンスは、日本と韓国の30歳以下のユースが寝食を共にしながら、日本・韓国に共通するさまざまな問題について共に学び、対話・交流する、草の根の国際交流プログラムである。1993年以来、韓国・日本を毎年交互に会場として開催し、平和を創造するユースのリー



ダーシップ養成に貢献してきた。プログラムの企画・運営は、30 歳以下のユースを中心とした実行委員会が担う。

2018 年度は前年度に「私たちの生きづらさを考える～社会的承認と貧困～」をテーマに実施した同プログラムのフォローアップとして、「ルッキズム:外見によって人を評価・判断・差別する現象」をキーワードに、人権について考えるイベントをシリーズで実施した。前年度のプログラムに参加したユースメンバーが、そこで得た学びとアクションプラン(課題解決に向けた行動計画)を受けて、「プログラム終了後も、より良い社会を目指して行動を起こそう!」と集まり、実行委員を担った。見えづらい人権問題に触れながら、自身の生きづらさやモヤモヤの正体が何であるかを発見し、自分と社会の関係について考えを深める場となることを目指して実施した。



近年、「共生社会」という言葉を耳にする機会が増えてきている。多様な誰もが排除されず、お互いに尊重し支え合い、共に生きていくことのできる社会の実現を目指すものの、現実の世界では、生きづらさを抱えながら人は生きている。その生きづらさは個々人の問題ではなく、特定の誰かが差別され、排除されている現実がある。2018 年度に実施したイベントのキーワードである「ルッキズム」は、実行委員を担ったユースたちが話し合いを重ね、自分たちにとって身近な問題から人権について共に考えたいと願い、見た目・容貌を取り巻く人権問題「ルッキズム」に焦点を当てることになった。何を美しい/美しくないと感じ、どのように外見を評価・判断・差別し、その評価・判断・差別は何を生み出すのか。それぞれの経験を共有しながら、外見を巡る「美しさ」という価値に関わる社会構造について考えを深める結果となった。

10月に神戸と東京でイベントを実施し、その後その講演内容、身近なルッキズムの事例、日韓のアンケート結果・考察、ワークショップ集、韓国 YWCA のユースの声を掲載したブックレット『私の人権のはなし』を作成した。3月には、ブックレットの完成記念イベントを実施。韓国 YWCA のユース・職員もオンラインで参加し、ルッキズムについて意見交換を行った。

プログラムは以下のとおり

➤ 神戸開催

開催日:2018 年 10 月 20 日(土)

会場:神戸 YWCA チャペル

テーマ:なぜ私たちは、見た目で判断してしまうのか?～釜ヶ崎における貧困問題のケースから～

講師:白波瀬達也(桃山学院大学社会学部)

参加者:29 名(参加者 26 名<内ユース 3 名>、実行委員 5 名、講師 1 名)

プログラム:第 1 部は講演、第 2 部は自分自身に引きつけて人権を考えるワークショップ

➤ 東京開催

開催日:2018 年 10 月 28 日(日)

会場:ちよだプラットフォームスクウェア 会議室 401

テーマ:「美しさ」は、誰が決める? ～ルッキズムに関する日韓比較～

講師:西倉実季(和歌山大学教育学部)

参加者:23 名(参加者 16 名<内ユース 8 名>、実行委員 6 名、講師 1 名)

プログラム:第1部は講演、第2部は自分自身に引きつけて人権を考えるワークショップ

➤ ブックレット『私の人権のはなし』完成記念イベント

開催日:2019年3月31日(日)

会場:ちよだプラットフォームスクウェア会議室 505

テーマ:見た目で判断するってどういうこと?

参加者:25名(一般18名、実行委員6名、通訳1名、韓国YWCAより8名)

プログラム:アイスブレイク、日韓ユース・カンファレンス2017の活動報告、ブックレット「私の人権のはなし」の読み合わせ・グループディスカッション・質疑応答、ワークショップ、全体共有

■南京を考える旅

このプログラムは、「ひろしまを考える旅」の姉妹プログラムとして2007年に始め、近年は2年毎に実施して2018年度は旅の実施はない年であるが、前年度の2018年3月に実施した「南京を考える旅2018」(テーマ:平和の道を共に行こう)のリユニオンや報告会を各地で開催し、前年度の旅のフォローアップをはかった。

フォローアップ・プログラムの内容は以下のとおり

➤ リユニオン

開催日:2018年4月22日(月)

会場:日本YWCA

内容:旅の感想の分かち合い、今後の報告の方法の方針など

➤ 報告会

Girl's Night Cafeにて報告

開催日:2018年5月23日(水)

会場:横浜YWCA

Christmas for Peaceにて報告

開催日:2018年12月8日(土)

会場:東京YWCA

熊本YWCA集会にて報告

開催日:2019年2月9日(土)

会場:熊本YWCA

■その他国際プログラムへのユースの派遣

パレスチナYWCA主催 国際ユース会議・オリーブ収穫プログラム

派遣者:斎藤未緒(熊本YWCA)、小笠原純恵(日本YWCA職員)

日程:2018年10月10日(水)~14日(日) パレスチナYWCA主催国際ユース会議

2018年10月15日(月)~22日(月) オリーブ収穫プログラム



会場:ラマツラ・国際赤新月(10月10日～14日)、ベツレヘム市内(10月14日～21日)

宿泊先:ラマツラ・国際赤新月(10月10日～14日)、ベイ

ト・サフル村内(10月14日～21日)

内容:オリーブの収穫作業、ヘブロン旧市街見学、カイロス・パレスチナ文書解説、現地 NGO による政治状況分析講義、BDS 運動に関するプレゼンテーション、ドキュメンタリー映画上映、イスラエル人活動家と共にエルサレムを見学、アドボカシー活動と今後の計画、音楽のタベ

2. 青少年の健全な心身育成に資する事業 (公益目的事業 1)

豊かな出会いの中で、思いやりと生きる力を育み、平和な未来を創り出す人材を養成することを目的に、中学生や高校生を対象に以下のカンファレンスを実施した。地域や学校をこえた生徒たちの交流や、フィールドワークなどを通して自己を発見



し、他者への理解を深め、生きる力を育む一助となった。これらの経験を通して、青少年が地域社会に生きる人たちに目を向け、国際社会の課題を知ることによって、将来、国際的な場で社会貢献活動を担う人材を養成した。

■中高 YWCA 地区カンファレンス

毎年夏に地区毎または全国カンファレンスを開催。2018 年度は地区カンファレンスの年であり、3つの地区で開催した。

東北・北海道地区

日程: 2018 年 8 月 2 日(木)～4 日(土)

宿泊: 南幌温泉

テーマ: 「人権」

参加者: 53 名: 中高生 42 名、顧問 9 名、講師 2 名: 6 校

プログラム: 北海道博物館見学、開会礼拝、タベの祈り、朝の礼拝、レポート発表、酪農学園校内案内、札幌 YWCA ワーク ショップ、グループ発表準備、夕礼拝、朝の礼拝、全体ディスカッション・グループ発表、感想文作成、閉会礼拝

担当校: とわの森三愛高等学校

関東地区

日程: 2018 年 8 月 1 日(水)～3 日(金)

宿泊: 草津高原ユースホステル

テーマ: 「ハンセン病について学びを深める」

参加者: 51 名: 中高生 36 名、顧問 13 名、講師 2 名: 8 校

プログラム： 開会礼拝・オリエンテーション、中村茂さん(元フェリス女学院中高教諭)による主題講演、事前学習発表、晩祷、朝の祈り、楽泉園入所者の方の講演、社会交流館・楽泉園内見学、重監房資料館見学、湯畑散策(温泉で入浴)・自由時間、分かち合い、晩祷、朝の祈り、松浦信さん(日本聖公会・草津聖バルナバ教会司祭)による聖書研究、ふり返りとまとめ、閉会礼拝

担当校： フェリス女学院中学校・高等学校

関西地区

日程： 2018 年 8 月 2 日(木)～4 日(土)

宿泊： ルビノ京都堀川

テーマ：「共に生きる」～小さい者と共に歩む～

参加者：82 名： 中高生 65 名、顧問など 17 名：7 校

プログラム： 井深八重の生涯について、マーサ・メンセンディークさん(同志社大学社会学部准教授)の講演、ワークショップ、グループ発表、発表準備、YWCA アワー、各班発表

担当校： 同志社女子中学校・高等学校

■中高 YWCA 顧問総会・研修会

日本 YWCA に加盟する学校 YWCA の顧問を対象とする研修と、1 年間の活動報告と活動計画について協議する顧問総会を毎年実施している。

2018 年度は次回開催を計画している「中高 YWCA 全国カンファレンス」の現地調査を兼ねて、開催予定地の広島で行った。最終日には顧問総会を開催し、1 年間の活動を報告するとともに、次回開催する「中高 YWCA 全国カンファレンス」のプログラムについて協議した。



日程： 2018 年 12 月 26 日(水)～28 日(金)

会場： 広島女学院中学校・高等学校

宿泊： 広島の宿 相生

参加者： 19 名(14 校より 16 名+日本 YWCA 職員 3 名) *フィールドワーク時参加者：呉 YWCA より 6 名、ひろしまを考える旅委員会より 4 名

研修会では、次年度の全国カンファレンスのフィールドワーク候補地の一つである呉を巡った。

プログラムは以下の通り

- <26 日> 広島女学院中高の生徒による平和活動の紹介、開会礼拝 松原恵美子(中高 YWCA 委員会委員長/プール学院)、講演「広島女学院の被爆体験をとおして」 刀祢館美也子(広島女学院)、協議 中高 YWCA 全国カンファレンスについて
- <27 日> フィールドワーク 於：呉(大浦崎、潜水艦基地、歴史が見える丘、呉 YWCA、和庄児童公園、灰ヶ峰、海軍墓地、海上自衛隊博物館、大和ミュージアム)、交流会
- <28 日> 朝の祈り、顧問総会、閉会礼拝 肥田信長(とわの森三愛)

■2018 年度中高 YWCA 顧問総会

日時:2018 年 12 月 28 日(金)9:00～11:45

会場:広島女学院中学校・高等学校

出席:12 校 14 名 委任:24 校 欠席:1 校 陪席:3 名

議事:

1. 議長・書記の選出
2. 全国中高 YWCA 顧問会運営規程の確認
3. 前回記録の確認
4. 報告 以下の内容を資料にもとづいて確認し、可決承認。
 - (1)中高 YWCA 委員会経過報告
 - (2)中高 YWCA 地区カンファレンス報告
 - (3)『YWCA パスポート』発行
 - (4)日本 YWCA 報告
 - ①第 62 回国連女性の地位委員会(CSW)
 - ②ひろしまを考える旅 2018
 - ③南京を考える旅
 - ④YWCA フェスタ in 京都
 - ⑤日韓ユース・カンファレンス 2018 講演・ワークショップ「私の人権のはなし」
 - ⑥パレスチナ YWCA・国際ユース会議/オリーブ収穫プログラムへの派遣
 - ⑦地域 YWCA を主体とした活動(LA)「Girls Rock Day Camp」「全国ユースギャザリング」
 - ・「Rockuma (第 2 回 Girls Rock Day Camp)」
 - ・「全国ユースギャザリング」
 - ⑧大阪 YWCA100 周年 若い女性の国際フォーラム
 - ⑨今後の国際会議・プログラム等の予定
 - (5)中高 YWCA 各校活動報告
6. 協議
 - (1)2019 年度中高 YWCA 委員について
 - (2)中高 YWCA 全国カンファレンス 2019 について
 - (3)2019 年度顧問総会・研修会 日程

■関東地区中高 YWCA カンファレンスリユニオン

関東地区の中高 YWCA の生徒・教員が集い、各校の日常の活動を報告し合い、交流を深めた。

開催日:2019 年 1 月 5 日(土)

会場:東京 YWCA 会館カフマンホール

出席:中高生・教員 30 名、東京 YWCA 総幹事、日本 YWCA 職員 3 名

内容:礼拝・各校活動報告・交流会

3. 国連機関および国内外の NGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通して行うアドボカシー(政策提言等)事業 (公益目的事業 1)

国連の諮問機関でもある世界YWCAとの連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために政策提言を行った。平和・人権・環境・教育・女性への暴力・HIV と AIDS・性と生殖/健康など、女性と子

どもに関わる課題を取り上げたアドボカシー事業を実施し、真理を見極める人材を育成した。また、当法人の公益事業の周知と当法人に対する支援や協力の推進をはかるべく情報発信や広報、ファンドレイジングの促進を行った。それらを YWCA が発行する機関紙やウェブサイトでの情報配信を行った。

国際機関への派遣

■第 63 回国連女性の地位委員会(Commission on the Status of Women, 略称. CSW)

日程:2019 年 3 月 7 日(木)~3 月 18 日(月) 国連会議期間

は 2018 年 3 月 11 日(月)~3 月 22 日(金)

会場:国連本部、周辺(米国、ニューヨーク市)

テーマ:「ジェンダー平等と女性と少女のエンパワメントのための社会保護システム、公共サービスならびに持続可能なインフラへのアクセス」

派遣:9 名 王倩倩(東京 YWCA)、金志映(大阪 YWCA)、張美帆(横浜 YWCA)、日吉菜緒(横浜 YWCA)、三隅菜々子(横浜 YWCA)、森麻貴(名古屋 YWCA)、矢田部沙羅(東京 YWCA)、山口慧子(日本 YWCA 職員)、小笠原純恵(日本 YWCA 職員)



2019 年 3 月の CSW には、日本 YWCA よりユース 8 名を含む 9 名を派遣した。参加者は事前準備を通して、地域 YWCA の活動について知り、ジェンダーの課題について学び、CSW の本会議に並行して行われる NGO の「パラレルイベント」の準備を行った。日本 YWCA はパラレルイベントで、性教育・性産業・日常の性暴力の 3 つのテーマで日本の状況を発表した。1 つ目の「性教育」については、日本は包括的なセクシュアリティ教育が不足して

いること、2 つめの「性産業」については、法制度から日本特有の性風俗システムを読み解くとともに、日本特有のアダルトビデオ産業について報告。3 つ目の「日常の性暴力」では駅や電車、コンビニなど身近な場所で起こっている性暴力・性差別の事例を紹介した。これらは、事前準備会の話し合いの中からだされた素朴な疑問について「知りたい!」「伝えたい!」という思いから始まって研究し、発表に至った。発表当日は、70 名もの参加者があり、世界各国からの参加者より好評を博した。

この他、日本 YWCA からの出席者たちは、CSW の本会議の傍聴のほか、世界各国の NGO が主催するさまざまなイベントに参加して、世界各国の女性たちの活動に出会い、大いにエンパワーされた。

現地での動きは以下のとおり

- UN Women 国際女性デー記念イベント参加、ニューヨーク市 YWCA 訪問、パラレルイベント・リハーサル、UN Women 主催「Pre-CSW63 Youth Dialogue」参加、オーストラリア政府朝食会／Women's Rights Caucus 戦略会議、世界 YWCA オリエンテーション／米国 YWCA レセプション、国連女性の地位委員会(CSW)開会@国連本部、国連見学、ブルックリン YWCA 訪問、世界 YWCA メンバーネットワークワーキング、UN Women 主催「High Level Intergenerational Dialogue」参加、日本政府国連代表部ブリーフィング、韓国 YWCA・ネパール YWCA との交流会、UN Women 主催「Youth Mobilization Spaces」参加

- 日本 YWCA 主催パラレルイベント実施
実施日:3 月 12 日(火)
会場:ニューヨーク チャーチセンター
テーマ「Young Women's Roles in Social Protection: Through experiences in Japan」

■その他アドボカシー活動

- * 機関紙「YWCA」の企画・編集・年 6 回発行
- * 中高 YWCA だより「わーいだよ！」年 2 回発行
- * 「核」否定に関する情報をわかりやすく発信
- * 「ヒバクシャ国際署名」を実施
- * ウェブサイトでの情報を国内および世界に向けて随時発信
- * 海外で報道されている日本の憲法等の情報を発信
- * 全国アクション(日本 YWCA Facebook キャンペーン、パブリックコメントや署名運動の呼びかけ、抗議 Fax 送付)
- * 高校生平和大使の世界 YWCA 訪問にあたっての協力
- * 政策提言を必要に応じて実施
- * 衆議院憲法審査会傍聴およびかけと報告
- * 民意を無視した政治の情報収集及び他団体協働の集会への賛同、国会前行動への参加
- * 他団体の媒体への情報掲載や、イベント等へ出展

<声明・要望書>

2018 年

- 8 月 7 日(火) 東京医科大学の女子受験者への得点操作に抗議し、ジェンダー平等社会の形成を求める要望書
* 内閣総理大臣、文部科学大臣、東京医科大学理事長職務代理、東京医科大学学長職務代理 宛
- 12 月 10 日(月) 「辺野古海域への土砂投入に抗議します」
* 内閣総理大臣・国土交通大臣・防衛大臣宛

2019 年

- 1 月 14 日(月) 「日韓女性がつくる東アジアの平和のための共同声明」
* 日韓 YWCA カンファレンス参加者一同の名で配信
- 1 月 15 日(火) 「『週刊 SPA』掲載記事に強く抗議します」
* 扶桑社 代表取締役、「週刊 SPA！」編集長・発行人 宛

<賛同等>

2018 年

- 4 月 14 日(日) モニタリングポストの継続配置を求める市民行動 団体賛同
- 4 月 14 日(日) 2018 夏ほよーん相談会 団体賛同
- 4 月 25 日(木) ストップ改憲！8.6 新聞意見広告 2018 団体賛同
- 5 月 16 日(木) 第 29 回全国キリスト教学校人権教育セミナー 団体賛同
- 6 月 7 日(金) 「ガザでの抗議運動参加者に対する殺傷力のある武器使用中止の働きかけ、真相調査の調整に尽力してください」共同声明への賛同

- 7月25日(木) 恵泉女学園大学と梨花女子大学の協定締結記念 日韓国際シンポジウム 後援
- 7月25日(木) 山田火砂子監督映画「萩野吟子」 後援
- 9月6日(金) 早稲田奉仕園 韓国スタディーツアー 後援
- 9月6日(金) 沖縄県知事選を迎えるにあたっての共同アピール 賛同
- 10月18日(金) 柴山文科大臣の「教育勅語」発言の撤回と辞任を求める宗教者共同声明
- 2019年
- 3月7日(木) ウィメンズマーチ東京 2019
- 3月20日(水) 取材の自由を守ろう！市民の「知る権利」の侵害は許しません！宗教者共同声明

4. 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業（公益目的事業1）

国内外で起こった地震・洪水・事故等の災害や紛争等で被災した女性や子どもたちの安全と安心を確保するために、支援物資や支援金の提供および現地のニーズにあった適切なプログラムを実施した。また、そのために必要なトレーニングされたボランティア等の人材を養成した。

■東日本大震災被災者支援

東日本大震災および東京電力福島第一原発事故により被災した女性や子ども達を対象に、以下の中長期支援を行った。

* 心と身体の保養の「リフレッシュプログラム」

① 地域 YWCA で行われたリフレッシュプログラム

- ・ 福島 YWCA
 - 実施日: 2018年7月16日(月・休)
 - 場所: 会津若松市近郊
 - 対象: 福島 YWCA の書道教室の生徒と保護者、日本キリスト教団信夫教会の関係者
 - 参加者: 32名
 - 内容: 礼拝、野外活動(遊具)、プール、温泉など
- ・ 東京 YWCA
 - 日程: 2018年7月27日(金)～29日(日)
 - 場所: 東京 YWCA 野尻キャンプ場ゆかりハウス
 - 対象: 福島原発事故により外遊びが難しい子どもたち、障がいをもっている子どもたち
 - 参加者: 18名(子ども8名、大人10名)
 - 内容: 水遊び、ボート、自然散策、野尻湖花火大会見物など
- ・ 静岡 YWCA
 - 日程: 2018年8月3日(金)～5日(日)
 - 場所: 静岡市内
 - 対象: 小学生
 - 参加者: 27名(子ども16名、大人11名)



内容:川遊び、BBQ、ウォータースライダー、アユ掴み、すいかわり、交流会、親と実行委員との話し合いなど

- ・ 名古屋 YWCA

日程:2018 年 8 月 18 日(土)～22 日(水)

場所:名古屋学院大学瀬戸キャンパス、ウィルあいち

対象:小学生、その保護者

参加者:40 名

内容:川遊び、名古屋市内でフリーの時間など

- ・ 京都 YWCA

- * 夏のプログラム

日程:2018 年 8 月 17 日(金)～20 日(月)

場所:京都 YWCA

対象:中学・高校生

参加者:2 名

内容:京都観光(京都と韓国、福島と京都の関係を考えられる場所)、福島からの避難者が経営しているカフェ訪問、すいか割りなど

- * 春のプログラム:京都で進学を考えよう

日程:2019 年 3 月 28 日(木)～31 日(日)

場所:京都 YWCA

対象:中学・高校生(進路選択を考えている人たち)

参加者:6 名

内容:大学の見学、観光など

- ・ 福岡 YWCA

日程:2018 年 7 月 25 日(水)～30 日(月)

場所:糸島市、北九州市

対象:小学生と親子

参加者:21 名(子ども1名 親子 6 組)

内容:海遊び、染め物など(大人は整体)

- ・ 大阪 YWCA

日程:2019 年 3 月 27 日(水)～4 月 1 日(月)

対象:小学生・中学生

参加者:7 名

内容:公園遊び、観光、英語キャンプなど

- ・ 熊本 YWCA

- * 夏のキャンプ

日程:2018 年 8 月 11 日(土)～12 日(日)

場所:矢谷溪谷のキャンプ場

対象:熊本 YWCA・福岡 YWCA・晋州 YWCA(韓国)合同

参加者:23 名(小学生 8 名、福岡 韓国 15 名)

内容:水遊び、交流、すいかわり、花火など(春のキャンプに向けてリーダー養成)

* 春のキャンプ

日程: 2019 年 3 月 24 日(日)～28 日(木)

場所: 三郷ガーデンプレイス

参加者: 30 名(福島から 15 名 熊本 15 名)

内容: テーマ「音楽」: 楽器作り、自分たちの楽器の演奏、歌詞作って発表など

②地域 YWCA にアンケートを実施し、結果を 2018 年度加盟 YWCA 中央委員会で配布。

③リフレッシュプログラムを行っている地域 YWCA 担当者会議(スカイプ)

日時: 2019 年 1 月 19 日(火) 17:00～18:30

内容: 2018 年度夏に行われたリフレッシュプログラムの分かち合い、ふりかえり、今後の方針など

* 被災者受け入れのための住宅支援「セカンドハウス」

横浜・名古屋・神戸の 3 軒に加えて、2018 年度より函館の 1 軒が加わった。日本 YWCA は、福島はじめその近隣の放射能被災下にある家族および単身女性に、日本 YWCA は東日本大震災被災者支援募金より交通費の一部を補助して提供。それぞれの地域 YWCA の協力を得て続けている。

・ 2018 年度利用者数: 18 家族 59 名

横浜のセカンドハウス 10 家族 おとな 16 名、子ども 11 名

名古屋のセカンドハウス 4 家族 おとな 9 名、子ども 8 名

神戸のセカンドハウス 2 家族 おとな 4 名、子ども 3 名

函館のセカンドハウス 2 家族 おとな 2 名、子ども 2 名



・ セカンドハウス利用相談会

開催日: 2019 年 3 月 9 日(土)

会場: カーロふくしま

来場者: 9 名

* 福島市の女性や子どもたちの活動スペースとして、YWCA 活動スペース「カーロふくしま」(福島県福島市矢剣町 29-3)を運営

以下を目的として、2018 年度も福島を拠点とする事業を展開した。

活動目的:

- ・ 地域の女性の暮らしを再生することを支援する。
- ・ 福島市周辺に住む女性を対象に、暮らし再建のため、自らの、また地域の抱える課題解決のために主体的に行動できる人材を養成する。
- ・ 活動に参加した女性たちが、その後地域に根差した新規活動を立ち上げ、被災地域の復興と活性化を図ることを支援する。
- ・ 全国の保養活動やセカンドハウスプログラムの拠点となる。



<カーロふくしま主催プログラム>

①「カーロふくしま」を拠点とした地域の憩いの場づくり

・ パステルシャインアート教室

2018 年

4 月 18 日(水) 参加者 11 名、5 月 30 日(水) 参加者 8 名、
6 月 27 日(水) 参加者 9 名、7 月 25 日(水) 参加者 6 名、
8 月 29 日(水) 参加者 7 名、9 月 18 日(火) 参加者 10 名、
10 月 31 日(水) 参加者 11 名、11 月 28 日(水) 参加者 10
名、12 月 19 日(水) 参加者 11 名

2019 年

1 月 30 日(水) 参加者 9 名、2 月 27 日(水) 参加者 10 名、
3 月 20 日(水) 参加者 9 名

・ まめふくマルシェ(NPO 法人ビーンズふくしま、NPO 法人ルワンダの教育を考える会協力)

2018 年 10 月 6 日(土) 参加者 58 名

・ ハンドケア講座

2018 年 11 月 25 日(日) 参加者 3 名、12 月 9 日(日) 参加者 3 名

・ カーロふくしまおはなし会

*「しりたい・聞きたい保養のこと」 2018 年 6 月 7 日(木) 参加者 11 名

*「親子で楽しむ からだほぐして仲良くコミュニケーション」 2018 年 7 月 27 日(金) 参加者 5 名

*「ばらの花咲く Ann flower cake を作りませんか？」 2019 年 1 月 24 日(金) 参加者 9 名

*「自分の灯台(Light house)を探す」 2019 年 2 月 20 日(水) 参加者 10 名

・ 「生活クラブふくしま会員に向けての尿測定検査説明会」 2018 年 8 月 6 日(月) 参加者 4 名

②地域YWCA主催プログラム

・ 東京 YWCA 勉強会「いのちを選ぶ」 2018 年 7 月 2 日(月) 参加者 13 名

・ 福島YWCA、熊本 YWCA、松山 YWCA「わくわくサマー教室」 2018 年 8 月 5 日(日)～8 月 6 日(月) 参加者 56 名

・ 福島YWCA「ワンコインアロマ講座」 2018 年 10 月 18 日(木) 参加者 5 名

・ 福島YWCA「福島 Y's カフェ『クリスマスのお菓子作り教室』」 2018 年 11 月 22 日(水) 参加者 9 名

③カーロふくしま参加プログラム

・ ほよ～ん相談会 2018 年夏

2018 年 6 月 2 日(土) 於:いわき市・生涯学習プラザ 参加者 332 名

2018 年 6 月 3 日(日) 於:二本松市男女共生センター 参加者 268 名

・ カーロふくしま in しらかわ「ぷち保養相談会」

2018 年 6 月 22 日(金) 於:白河市・マイタウン白河 参加者 7 名

・ ふくしま市民活動フェスティバル

2018 年 10 月 21 日(日) 於:福島市・アクティブシニアセンターAOZ 来場者 2100 名、カーロふくしまブース来訪者 30 組 120 名

・ 311 受入全国協議会総会

2018 年 6 月 30 日(土) 於:東京都・麻布台セミナーハウス 参加者 30 名

・ 311 受入全国協議会交流会「第 3 回ほよっと全国交流会」

2019 年 2 月 16(土)～17 日(日) 於:京都市・地域福祉センター希望の家 参加者 110 名



- ・ ままっぷ-mamap 主催ぶちお茶会「セカンドハウス説明会」

2019 年 3 月 7 日(木) 於:白河市・マイタウン白河 参加者 6 名

⑤カーロふくしま訪問者総数

2018 年

4 月…47 名、5 月…21 名、6 月…39 名、7 月…39 名、8 月…81 名、9 月…21 名、10 月…88 名、11 月…48 名、12 月…34 名

2019 年

1 月…43 名、2 月…39 名、3 月…25 名

合計 525 名(月平均 44 名)

* 子どもがふみだすふくしま復興応援体験事業「ふくしまから考える 新しいエネルギープログラム」

福島県在住の高校生が、自然エネルギー普及に取り組む個人・団体を県内外に訪ね、その仕組みや使い方を学び、日々の生活で実際に活かし、社会に広めていく活動。それにより、高校生自身の成長を促すと共に、未来のエネルギーについて考え、より柔軟な社会の発展に寄与することを目的に、2018 年度も企画し、これまでどおり福島県教育庁社会教育課の「子どもがふみだす ふくしま復興応援体験事業」の助成申請を行ったが、助成団体の条件が変更されたため、2018 年度は助成が得られなかったため、プログラムの実施を断念した。

■北海道胆振東部地震被災者支援

2018 年 9 月に北海道の胆振地方中東部で起こった地震に関して、日本 YWCA は札幌 YWCA・函館 YWCA・近隣教会と連携して支援活動を行った。活動の拠点は札幌 YWCA。

以下の活動にあたっては、北海道地震被災者支援募金を募って実施した。

＜発災から現在までの動き＞

2018 年

9 月 3 日(月) 北海道胆振東部地震発生

9 月 13 日(木)・24 日(月) 札幌市清田区里塚地区を視察。町内会の方と懇談。

9 月 25 日(火) 安平町・厚真町・鶴川町の各災害ボランティアセンターで北海道社会福祉協議会福祉人材部研修教務課主査と 9 月 30 日以降の支援について意見交換。

9 月 26 日(水) 支援活動について関係団体で協議 於:札幌 YWCA 壘

9 月 28 日(金)～30 日(日) 中央共同募金会が設置する災害ボランティア活動支援プロジェクト会議から、むかわ町子ども発達支援センターたんぽぽ(以下、たんぽぽ)への支援協力を依頼され受諾。派遣ボランティアの募集と調整実施。

10 月 1 日(月) 日本バプテスト連盟札幌バプテスト教会、日本福音ルーテル札幌教会、札幌 YWCA のメンバーがたんぽぽを訪問(第 1 回ボランティア支援)

10 月 2 日(火)～5 日(金)、10 月 9 日(火)～10 日(水)の計 6 日間



たんぽぽに指導員を補助するボランティアチームを派遣

10月15日(月) 今後の支援について関係団体で協議 於:札幌バプテスト教会

11月1日(木) 清田区里塚支援 里塚中央町内会長と面会。里塚中央被災復興委員会(以下、委員会)活動費・町内排雪費用を支援する。

<むかわ町子ども発達支援センターたんぽぽ支援>

2018年

12月17日(月) クリスマス会の企画・運営・参加。近隣教会との連携のもとでクリスマス会実施に協力。

2019年

3月27日(水) お楽しみ会の企画・運営・参加。近隣教会との連携のもとでお楽しみ会実施に協力。

<札幌市清田区里塚地区支援>

2018年

10月23日(火) 里塚中央町内会長・里塚中央被災復興委員と札幌 YWCA 総幹事ほかが面会。除排雪等の資金及び里塚中央被災復興委員会の活動資金の援助、リフレッシュプログラムの実施について検討。札幌 YWCA 会員・購読会員ほか、札幌バプテスト教会教会員、北星学園大学の学生ボランティアが参加。

12月8日(土) 清田区里塚地区のお餅つき大会に参加・協力。札幌 YWCA 会員・購読会員ほか、札幌バプテスト教会教会員、北星学園大学の学生ボランティアが参加。

2019年

1月21日(月)、1月30日(水)、2月8日(金) リフレッシュプログラム「編み物カフェ」全3回実施。

2月13日(水)、20日(水)、25日(月) リフレッシュプログラム「体操教室」全3回実施。

3月20日(水) リフレッシュプログラム「歌声」全1回実施。

*3月終了予定であった清田区リフレッシュプログラムは、清田区町内会の要望により2019年9月まで延長する。

■西日本暴雨被災者支援

2018年7月に西日本を中心に記録された豪雨の被災者支援活動を、呉YWCAを拠点に実施した。以下の活動は、「災害時支援募金」を用いて行った。

*給水及び洗濯機提供

期間:被災直後から市内給水復旧時まで解放(概ね7月16日で希望者終了)

対象:呉YWCA会館周辺住民及び希望者

内容:水道提供 給水 洗濯機使用 等

*宿泊場所の提供

期間:2018年7月中

対象:被災者支援ボランティア

内容:宿泊施設として呉YWCA会館を提供。その他 キリスト教呉ボランティアセンターと協働し、全国各地から呉に来たボランティアの方達の飲食、洗濯等の場所を提供した。



*** 災害復興を考える講演会**

開催日:2018 年 8 月 4 日(土)

会場:呉 YWCA

内容:地域貢献事業として、2015 年常総市の豪雨災害後の復興支援に携わったタウンマネージャーよりお話を伺い、被災地となった呉の今後を考える機会とした。この講演会は、街づくり関係者が今後の呉の課題について話し合う場となり、被災直後から支援や調査に入っているボランティア団体から現状報告を受けて、今後の支援についての相談、緊急支援・中長期支援について活発な意見交換が出来た。

*** 天応地区への支援**

実施日:2019 年 3 月 20 日(水)

内容:広島県呉市天応地区の天応ふれあい集会所の改修工事完了に合わせ、集会所で使用する必要な物品を提供。

■熊本地震被災地支援

2016 年 4 月 14 日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震の被災者への中長期活動支援は、以下の方針のもと、2016 年 7 月 1 日～2020 年 3 月 31 日 熊本YWCAを拠点として実施。

- ①子どもたちの心のケアのためのデイプログラムと春のわくわくキャンプ(福島と熊本の子どもたち対象)
- ②安心して活動できる拠点としての建物の補強
- ③被災した留学生や会員の支援
- ④長期的な活動の担い手の育成や研修(特に若い人材養成のため)
- ⑤熊本で被災した関係団体への支援



2018 年度は、2019 年 3 月 24 日(日)～28 日(木)の春キャンプ(熊本・福島の子ども対象)を実施。2011 年の原発地震の放射能汚染の影響で外遊びが出来なくなった福島の子ども達、2016 年の熊本地震で被災した子どもたちを、安心して楽しむことができる 4 泊 5 日のキャンプを行った。その他、夏の「デイプログラム」、災害などの緊急時に備えた子どもの心理的応急処置一日研修、支援が行き届いていない阿蘇地域への支援等を行った。

■国内外で起こった災害や紛争等の緊急・中長期支援

*** 南アジア洪水被災者支援募金**

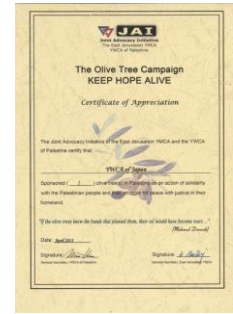
2018 年 8 月に南アジアを襲った洪水を受けて、インド YWCA とミャンマーYWCA と連絡を取り、支援活動に協力して緊急送金。両 YWCA の洪水の被災者支援活動を支援した。

インド YWCA とミャンマーYWCA が実施した被災者支援活動は以下のとおり。

- ・インド: 甚大な被害を受けた 2 つの村で生活と住居の再建。
- ・ミャンマー: カレン州とモン州において、若い人が都市部に働きに出ってしまったために高齢化が進んだ地域への物資支援。

*パレスチナ YWCA の活動支援およびオリーブの木キャンペーン

パレスチナ YWCA が実施している「パレスチナの難民の子どもたちの学びと成長を支援するプログラム」や「女性の自立のための職業訓練」への支援およびパレスチナにオリーブの木を植林する「オリーブの木キャンペーン」に参加し、日本国内で支援を呼びかけた。



5. 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業(公益目的事業 1)

国際規模の社会貢献活動を推進し、質を維持するために継続したリーダーシップトレーニングの実施が不可欠である。以下のボランティアによる全国規模の集会や会議等の社会貢献活動プログラムを日本 YWCA に加盟する全国の地域 YWCA および学校 YWCA と、日本 YWCA が加盟する世界 YWCA に連なる各国 YWCA との協働により実施する。これらのプログラムに参加することによって、ボランティアのリーダーシップが発揮されるようになり、ボランティア・コーディネートを担い、社会状況を分析する力を養い、地域社会・国際社会の女性と子どものニーズに応えながら、主体的に事業の企画・推進を担う、国際的視野にたつ人材が育成される。

■社会貢献活動を推進するボランティアのリーダーシップ養成

国際的・社会的状況を把握・分析し、課題解決のために取り組むべき事業を担うために必要な力を養うためのプログラムおよび研修会

*YWCA フェスタ in 京都

日程:2018 年 5 月 19 日(土)~20 日(日)

会場:京都平安ホテル「平安の間」、
京都 YWCA

参加者:139 名(内ユース 23 名)

テーマ:みんなでつくりだす YWCA の未来



プログラム:<19 日>開会・プレゼンテーション「歴史編」「ビジョン編」、「地域 YWCA を主体とした活動(LA: Local Action)」第 1 期(2017・2018 年度)の中間報告、第 2 期(2019・2020 年度)申請 YWCA のプレゼンテーション・2 期 LA の投票・大交流会、分科会Ⅱ-⑤「ユースでもシニアでもない私…ミドル大集合!」のメンバー交流会 <20 日>モーニングセッション(南京を考える旅・日韓ユースカンファレンス・CSW 報告)・日曜礼拝、分科会Ⅰ①若い女性の主体的な活躍 ②セーフスペース ③持続可能な団体 ④ゆるぎないミッション、分科会Ⅱ①私は平和のメッセンジャー(東京 YWCA 平和と正義委員会) ②多文化共生社会を目指してー異なる他者とのきずなから社会を考えようー(京都 YWCA 多文化共生委員会) ③自然エネルギーは無限で安全!(松山 YWCA) ④私の中のガール&ウーマンを抱きしめて~女性はみんな少女だった~(日本 YWCA 運営委員会)⑤ユースでもシニアでもない私…ミドル大集合!~YWCA や社会で中間管理職的な私たちのお悩み共有とこれから~(日本 YWCA 運営委員会) ⑥中高生のパワーは∞(無限大)~中高YWCAの今まで、今、これから~(日本 YWCA 運営委員会) ⑦【ユース限定分科会】街へ出て、「違和感」を共有しよう!(日本 YWCA ユース委員会)、全体会・閉会

*5月21日(月)はオプションツアー「京の中のキリシタン史跡や朝鮮文化を巡るツアー」「伏見の戦跡

と酒蔵の街を巡るツアー」

*** 日本 YWCA の公益事業の企画会議(運営委員会)**

2018 年

9 月 15 日(土)～16 日(日) 於: 日本 YWCA

11 月 17 日(土) スカイプ会議

2019 年

1 月 19 日(土)～20 日(日) 於: 日本 YWCA

3 月 2 日(土)～3 日(日) 於: 日本 YWCA

*** 全国規模の社会貢献事業の企画会議(加盟 YWCA 中央委員会)**

2018 年 5 月 19 日(土) 於: 御所西 京都平安ホテル「平安の間」

*** 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のリーダーシップ研修(地域 YWCA 会長会)**

2018 年 5 月 18 日(金) 於: ザ・パレスサイドホテル(京都)

*** 全国の地域の YWCA で実施する社会貢献事業の協働(LA: Local Action)**

ユースのための憲法カフェ 協働: 東京・横浜 YWCA

会員のリーダーシップ養成を考える～3市 Y 合同合宿～ 協働: 京都・神戸・大阪 YWCA

全国ユーススキルアップ研修・交流プログラム 協働: 熊本・大阪・長崎・福岡・沖縄・京都・神戸 YWCA

Girls Rock Day Camp(ガールズ・ロック・デイキャンプ) 協働: 横浜・熊本・福岡・広島・甲府 YWCA

沖縄とわたしたち・平和とあなた in かながわ 協働: 横浜・湘南・平塚 YWCA

YWCA 平和の守り人～地域のピースマップを作ろう!～ 協働: 函館・広島・札幌 YWCA

*** ボランティアと共に全国規模の社会貢献事業を推進するための YWCA の職員研修**

YWCA 職員研修 ステップ I

日程: 2018 年 6 月 16 日(土)～18 日(月)

会場: 6 月 16 日 京都 YWCA 6 月 17 日 神戸 YWCA 6 月 18 日 大阪 YWCA 千里

宿泊先: 山西福祉記念会館

参加者: 8 名(神戸 3 名、函館 1 名、福岡 1 名、名古屋 1 名、東京 1 名、日本 1 名)+担当総幹事 2 名(中山 羊奈<大阪 YWCA>、尾崎裕美子<日本 YWCA>)

内容: <16 日>開会、オリエンテーション、自己紹介、YWCA の組織と活動—日本 YWCA の全国ネットワーク/世界 YWCA のネットワーク (日本 YWCA 総幹事)、活動の現場をみる—京都 YWCA 見学、YWCA で働くとは—先輩職員に聞く、夕食兼交流会

<17 日>日曜礼拝へ出席 日本基督教団神戸イエス団教会 活動の現場をみる—神戸 YWCA 見学 YWCA の歴史/キリスト教基盤について、YWCA で働くとは—先輩職員に聞く、参加者同士の交流

<18 日>18 日は地震の影響により午後のプログラムを中止。大阪 YWCA にてふりかえりを行い、解散した。

YWCA職員研修ステップⅡ

日程:2019年1月23日(水)～25日(金)

会場:23日 東京 YWCA 板橋センター

24日 午前 東京 YWCA 会館、午後 東京 YWCA 国領センター

25日 東京 YWCA 会館

宿泊先: 在日本韓国YMCA

参加者: 11名(函館 YWCA1名、東京YWCA2名、名古屋 YWCA3名、大阪 YWCA2名、京都YWCA2名、福岡YWCA1名)、担当総幹事2名

プログラム: <23日> 開会 能美祐子(東京YWCA総幹事)、オリエンテーション、自己紹介、板橋センター見学とお話、グループワークについて 土岐祥子(東京YWCA社会福祉事業部統括責任者)、夕食兼交流 於:未来食堂

<24日>、朝のつどい、YWCAの組織&歴史 尾崎裕美子(日本YWCA総幹事)、クッキングハウス訪問 お話: 松浦子、東京YWCAまきば保育園見学 お話: 大沢千佳子(園長)

<25日>朝のつどい、YWCAのキリスト教基盤についてのワークショップ 増田琴(日本基督教団経堂緑岡教会)、ふりかえり閉会 尾崎裕美子

中堅幹事研修 ステップⅣ

日程:2018年8月27日(月)～29日(水)

会場・宿泊先: 東京 YWCA 野尻キャンプ場

テーマ: 対人援助者としての YWCA の幹事の働き

講師: 金香百合(ホリスティック教育実践研究所所長/大阪 YWCA 会員)

参加者: 6名(名古屋 YWCA、神戸 YWCA、京都 YWCA、横浜 YWCA、日本 YWCA) 担当総幹事: 尾崎裕美子(日本 YWCA)

内容: <27日>開会、オリエンテーション(尾崎裕美子)、野尻キャンプ場オリエンテーション・キャンプサイトめぐり(柳下史織)、講義と実習: 対人援助者としての幹事の役割(金香百合)

<28日>講義と実習(金香百合)、野尻の夕べ—会員との交流

<29日>講義と実習(金香百合)ふりかえり・閉会(尾崎裕美子)

* 国際プログラムへの派遣を通してのリーダーシップトレーニング

日韓 YWCA カンファレンス

日程: 2019年1月11日(金)～14日(土)

テーマ: 韓国・日本の女性たちが共につくりだす東アジアの平和

—世界 YWCA 共同決議後の取り組みと今後に向けてのアクション

—東アジアの平和構築への協働

会場: 11日 ザ・パレスサイドホテル(京都)

12日～14日 京都YWCA

宿泊: ザ・パレスサイドホテル

参加者: <韓国 YWCA 12名> HAN, Young Soo(韓国 YWCA 会長)、WON, Young Hee(韓国 YWCA 副会長)、LEE, Jong Lim(韓国 YWCA 副会長)、BAIK, Hyejin(韓国 YWCA 書記役員)、HAN, Mimi(韓国 YWCA 書記役員)、CHO, Eun Young(韓国 YWCA 理事)、KIM, Tai Yun(韓国 YWCA 理事)、YOO, Sunghee(韓国 YWCA 総幹事)、KIM, Eun Young(韓国 YWCA 幹事)、LEE, Yunsook(韓国 YWCA 幹事 通訳者)、CHANG, Miran(韓国 YWCA 平和統一委員会委員長)、MOON, Sang Soon(韓国 YWCA 地域YWCA代表)

＜日本 YWCA15 名＞ 藤谷佐斗子(日本 YWCA 会長/公益財団法人日本 YWCA 理事)、手島千景(日本 YWCA 副会長/公益財団法人日本 YWCA 理事)、藤原玲子(日本 YWCA 書記/公益財団法人日本 YWCA 評議員)、実生律子(公益財団法人日本 YWCA 代表理事)、鹿野幸枝(公益財団法人日本 YWCA 理事/公益財団法人大阪 YWCA 代表理事)、谷川いづみ(公益財団法人日本 YWCA 理事/公益財団法人名古屋・大阪 YWCA 理事)、石井摩耶子(公益財団法人日本 YWCA 監事/前代表理事)、モーア アン(公益財団法人神戸 YWCA 理事)、雀部真理(日本 YWCA 運営委員)、清塚典子(日本 YWCA 運営委員)、山本知恵(京都 YWCA 総幹事/公益財団法人京都 YWCA 常務理事)、野崎千代(福岡 YWCA 総幹事/公益財団法人福岡 YWCA 常務理事)、尾崎裕美子(日本 YWCA 総幹事/公益財団法人日本 YWCA 常務理事)、西原美香子(日本 YWCA 幹事/公益財団法人日本 YWCA 業務執行理事)、小笠原純恵(日本 YWCA 幹事)

*その他、日韓ユース・カンファレンスの話し合い時に、吉田夏子(日本 YWCA 運営委員)、山口慧子(日本 YWCA 職員)が出席。

プログラム:＜11 日＞開会礼拝 メッセージ 実生律子、基調講演 石井摩耶子、ウェルカム・パーティー
＜12 日＞フィールドワーク「京都のキリシタン史跡・朝鮮文化を巡る」案内 京都 YWCA、京都 YWCA 見学説明 山本知恵、聖書研究 WON, Young Hee、カルチュラル・ナイト、(日韓ユース・カンファレンスについての話し合い)

＜13 日＞日曜礼拝 於・日本聖公会聖アグネス教会、ナショナル・レポート 韓国 YWCA・LEE, Jong Lim・CHANG, Miran 日本 YWCA・藤谷佐斗子・手島千景・藤原玲子・尾崎裕美子、協議1- ナショナル・レポートを受けてグループ・ディスカッション①核兵器と原子力エネルギーのない世界のためのアクション ②東アジアの平和構築のアクション 進行 手島千景、協議 2-グループ・ディスカッションの分かち合い 進行 CHO, Eun Young・手島千景、フェアウェル・パーティー

＜14 日＞ 共同声明発表 司会 HAN, Mimi・藤谷佐斗子、閉会礼拝 司会 モーア アン

ドイツ訪問

日程:2018 年 9 月 21 日(金)～24 日(月)

訪問者:佐藤純子・西原美香子(日本 YWCA)

訪問先および内容

・東電原発事故後のフクシマ地方の人々への人道的・法的支援の可能性を探る会議

日程:2018 年 9 月 21 日(金)～23 日(日)会場:ZENTRUM OEKUMENE (ドイツ フランクフルト)

会議の目的:

- ①東電と国を相手取った訴訟裁判に関する情報交換
- ②フクシマ地方の子どもたち・家族を人道的に支援する方法に関する情報交換
- ③(a) 日本で人道的・社会的プロジェクトを行っているグループ、(b)ヨーロッパにおける日本人の反原発グループネットワーク「よそものネット」、(c)在ヨーロッパの反原発グループとの間のネットワークと協力体制の強化。

主催:ZENTRUM OEKUMENE

出席者:よそものネットワークより 8 名、人道支援を行っているグループより 4 名(日本 YWCA 佐藤純子・西原美香子含む)、福島の実業訴訟団より 4 名、その他共催団体スタッフ、通訳者ほか
日本 YWCA より被災者支援報告(佐藤純子)

・チャリティーコンサート「福島の子ども達に保養を」

実施日:2018 年 9 月 22 日(土)

会場:Evangelisch-reformierte Gemeinde (フランクフルト)

コンサート会場にて、日本 YWCA より活動報告(西原美香子)。コンサート終了後に寄付。寄付金は

全額、日本 YWCA 東日本被災者支援事業へ。

・カッセルの CVJM との話し合い

実施日:2018 年 9 月 24 日(月)

会場:CVJM(Christlicher Verein Junger Menschen)大学

目的:①CVJM の大学・寮の見学 ②福島被災者支援への協力依頼

中国 YWCA 訪問

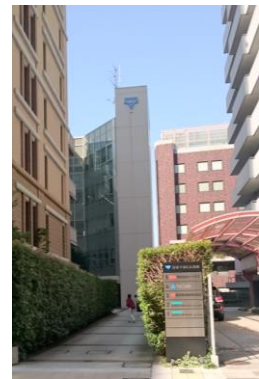
日程:2018 年 11 月 22 日(木)～26 日(月)

訪問者:藤谷佐斗子(日本 YWCA 会長)、中山羊奈(大阪 YWCA 総幹事)、山本知恵(京都 YWCA 総幹事)、寺内真子(神戸 YWCA 理事)、尾崎裕美子(日本 YWCA 総幹事)、臼井一美(日本 YWCA 職員) 以上 6 名

訪問先および内容:杭州 YWCA、上海 YWCA が行っている事業の見学とミーティング、中国 YWCA とのナショナルミーティング

6. 土地建物の貸与および共有事業 (収益目的事業 1)

当法人の公益目的事業の実施に必要な資金を補うことを目的として、法人が所有する東京都千代田区九段南 4-8-8 の土地と建物を貸与している。公益目的事業に安定した資金供給のために、建物を良好な状態で維持管理するべく、日常の営繕を実施した。



以上